



平成 27 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 東京製綱株式会社
代表取締役社長 中 村 裕 明
(コード番号 5981 東証第1部)
問合せ先 常務取締役執行役員総務部長 佐藤和規
(TEL. 03-6366-7777)

CFCC 北米工場設立に関するお知らせ

今般、当社は、米国ミシガン州に炭素繊維複合ケーブル (CFCC) の生産工場を設立することを決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 設立趣旨

一般にコンクリート橋梁の寿命は 50 年程度であるとされる中、米国では 1960 年代に建設され寿命に至るものが多数現存しており、加えて塩害等による早期劣化が深刻な状況にあるなど、コンクリート構造物の再整備が重要な課題となっております。

当社では、2013 年 8 月に米国ミシガン州に TOKYOROPE USA INC. を設立し、高強度で腐食しない CFCC がこの課題解決に最適であるとの判断から、潜在需要調査と技術普及活動を展開してまいりました。

この結果、2016 年にミシガン州で、また全米 50 州 (カナダ各州やその他周辺国の一部を含む) の道路交通網整備の中心的役割を担う全米高速道路交通機関協会 (American Association of State Highway and Transportation Officials, 通称「AASHTO」) にて、CFCC 適用の Guide Spec を制定することが正式に決定され、2016 年末に草案公表、2018 年に規格化されることとなっております。

2016 年に草案が公表され CFCC のスタンダード化が進展することで、需要が飛躍的に増大することから、その需要にこたえるべく早急に米国での供給体制を整備する必要が生じております。

加えて、CFCC は鉄と比べて軽量、熱膨張が極めて少ないという特長や、より線構造による優れた柔軟性という特長から、大容量送電時の発熱によるタワミが抑制された高圧架空送電線 (HTLS 電線) の芯材としての需要があり、米国電線メーカーからも高い評価を得ており北米土木用途同様、米国での供給体制整備が必要となっております。

以上の経緯から、今般北米工場建設を決定いたしました。今般の工場立地にあたっては、ミシガン州ローレンス工科大学との長年の協力関係や、ミシガン州政府から CFCC の将来性に対する評価としてミシガン州経済開発公社 (MEDC) を通じて、工場進出に対

する強力な支援体制を整備いただいていることに鑑み、ミシガン州が立地先として最適であると判断いたしました。

今回の工場設立は 2016 年 1 月の操業開始を予定しており、初年度 1,000km の生産からスタートいたしますが、今後の需要状況に応じて順次、生産拡大を実行してまいります。

2. 新工場の概要

- (1) 名称
TOKYO ROPE USA INC. ミシガン工場 (仮称)
- (2) 進出地区
米国ミシガン州
- (3) 代表者
TOKYO ROPE USA INC. CEO 山本義明
- (4) 操業開始時期
2016 年 1 月より操業開始
- (5) 生產品目・生産規模
橋梁・パイル補強材及び送電線芯材用 CFCC の製造
生産能力：2,000km/年(橋梁・パイル補強材用、送電線芯材用)
- (6) 投資額
4 百万 USD
- (7) 従業員数
30 名(2016 年)
- (8) 初年度販売目標
10 百万 USD

(注)「CFCC」は東京製綱株式会社の登録商標です。

以 上